

子供・子育て支援総合計画に関する子供の意見を聴く取組の実施状況

取組		実施状況
計画等 政策全般に 関わるもの	出前授業	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校、計5校において、東京の子供・子育てに関する課題を取り上げ、授業を実施し、子供の意見を聴取
	子供の居場所インタビュー	小学校高学年から18歳未満の子供たちを対象に、児童館や子供食堂、フリースクールなど、11箇所の子供の居場所に出向いて、372名にインタビュー等を実施し、子供の意見を聴取（インタビューできなかった子供には、アンケートを実施）
	小学生・中学生・高校生世代からの意見募集	子供向けに分かりやすく、「やさしい日本語」に書き換えた計画の概要資料を作成、配布し、30日間、インターネットフォームで受付。小中高生81名が意見を提出。
	こどもシンポジウム	東京都の子供・子育て支援施策等について、都内在住・在学の中高生30名が約3ヶ月間、5つのテーマのグループで研究活動を行い、活動の成果を発表
個々の施策に 関わるもの	児童相談所が関わる子供の意見表明を支援する仕組み（子供アドボケイト）の在り方に関する検討における子供へのヒアリング	児童福祉審議会委員が児童養護施設等を訪問し、幼児から高校生まで37名の児童から、相談相手の大人に望むこと、相談しやすい方法、意見を聴いて欲しいと思う場面などについて、口頭で意見を聴取
	子供主体の保育普及促進事業における保育園児の観察	子供主体の保育実践の普及促進のため、都が派遣したアドバイザーが都内保育所等（5園）の園の活動に同行、園児を観察し、得られた子供との関わりのポイントやヒントを、動画の配信や、シンポジウム、セミナー・交流会を通じて周知
	「東京都こども基本条例」ハンドブックの作成過程に子供たちが参加	小学生から高校生までの計31名の子供たちが、「こども編集者」として活動。ワークショップにおいて、企画段階からハンドブックの作成に参加。 また、学校を訪問し、ハンドブックの試作版を題材に出前授業を実施し、約600人の子供たちから意見を聴取